



# 昭和大学歯学部だより

2022年 9・10月号

通算第218号

## 父兄会が開催されました

＜教育委員長 船津 敬弘＞

昭和大学父兄会秋季部会 歯学部部会

歯学部長挨拶 ↓ 教育について ↓ 学生生活について ↓ 卒業判定、進級判定について ↓  
 国家試験に向けた取り組みについて ↓ 大学院（歯学研究科）紹介 ↓

歯学部長 横 宏太郎 「ご挨拶」



教育委員長 船津 敬弘 「教育について」



父兄会秋期部会が、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、昨年同様 WEB 開催となりました。歯学部部会では、榎歯学部長より115回の歯科医師国家試験が非常に良い結果であったこと、成績が伸び悩んでいる学生への修学支援活動について、講義に関しては対面講義の重要性とともに WEB コンテンツによるオンデマンド学習の推進について説明がありました。野中学生部長からはメンタルサポート(心のケア)について、私からは卒業判定、進級判定についてお話しさせていただき、歯学部6年生のチューター会議議長である坂井先生からは歯科医師国家試験に向けた取り組みについて説明がされました。高見大学院研究科長からは、卒後の可能性を拓げる意味をもつ大学院の説明もありました。また、指導担任とご父兄との電話面談(希望者)も行われ、ご父兄のご質問やご不

安にも対応いたしました。次年度はご父兄の皆様と直接お会いできることを祈念いたしております。



- P.1 【父兄会が開催されました】教育委員長 船津 敬弘教授
- P.2 【旗ヶ岡祭が開催されました】歯学部学生部長 野中 直子教授  
 【大学院秋季修了式が開催されました】歯学研究科長 高見 正道教授
- P.3 【ワークショップピギナズ、アドバンスドが開催されました】歯学教育学講座 坂井 信裕准教授  
 【ワークショップピギナズに参加しました】医科歯科連携診療歯科学部門 松井 庄平助教
- P.4 【ワークショップアドバンスドに参加しました】歯科放射線医学部門 松田 幸子講師  
 【ワークショップアドバンスド学部混合に参加しました】口腔生理学講座 中村 史朗准教授
- P.5 【私立歯学部学生生活協議会に参加しました】歯学部学生部長 野中 直子教授  
 【学生実習風景】歯科薬理学講座 唐川 亜希子講師
- P.6 【研究紹介】口腔機能リハビリテーション医学部門 伊原 良明准教授  
 【受賞】顎顔面口腔外科学部門 天田 かおり助教
- P.7 【先端歯学スクールに参加しました】歯科矯正学講座 河合 良太先生  
 【認定医・専門医取得】  
 【行事予定】

## 旗ヶ岡祭が開催されました

< 歯学部学生部長 野中 直子 >

第62回旗ヶ岡祭が10月8日、9日に開催されました。今回のテーマは「Heart to heart」で、2年ぶりの通常開催となりました。新型コロナウイルス感染拡大に注意を払いながらの企画や準備は、実行委員をはじめ開催にたずさわった方々には大変なご苦労があったことと思います。メインステージでの催し、クラブによる模擬店や展示、また恒例となっている昭和大学名人会や芸能イベントも開催され、どこも盛況でした。テーマにふさわしく、主宰した学生の皆さんをはじめ、参加された皆様、協賛していただいた企業・地域商店の皆様、また開催に向けてご協力いただいた学生課はじめ大学職員の方々と心がひとつになった学園祭でした。学生生活の中で、学園祭は思い出に残る行事の一つです。コロナ禍ということで会話・声援はできませんでしたが、マスク越しではありましたが、皆さんの笑顔で心が通じ合えた素敵な学園祭でした。



## 令和4年度大学院秋季修了式が開催されました

< 歯学研究科長 高見 正道 >



令和4年9月22日午後4時より、令和4年度大学院修了式が昭和大学上條記念館において挙行されました。今回は、医学研究科15名、歯学研究科4名、薬学研究科3名に博士の学位が、保健医療学研究科3名に修士の学位が久光学長より授与され、歯学研究科の代表として、滝口涼美麗さんが学位記を受け取りました。久光学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し、歯学研究科長の私からは「昭和大学宣言」の一文を引用しながら、生涯にわたって研究に努めてほしいと述べました。昭和大学宣言と校歌演奏の後、修了者に研究科長から学位記が一人ずつ手渡され、修了生と記念撮影をおこないました。博士となられた皆さんの今後の活躍を期待しています。

# 昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーズ, アドバンスド)が開催されました

<歯学教育学講座 坂井 信裕>

7月14日(木)~16日(土)に、第12回昭和大学教育者のためのワークショップ(WS)ビギナーズコースが東京都府中のセミナーハウス・クロス・ウェーブ府中で3年ぶりに開催されました。歯学部からは、タスクとして片岡教授, 伊佐津准教授, 立川助教と坂井が参加しました。参加者は石田助教(病理), 松井助教(連携), 清原助教(インプ), 壇辻助教(生理), 黒田助教(放射)でした。

8月18日(金), 19日(土)には、医学・歯学・薬学・保健医療学教育者のためのWSアドバンスドコースが上條記念館で開催されました。歯学部テーマは、「アウトカム基盤型教育におけるカリキュラム再検討」でした。タスクとして榎歯学部長, 片岡教授, 高見教授, 片岡有講師, 高橋(慎)助教と坂井。参加者は馬場教授(補綴), 弘中教授(衛生), 船津教授(小児), 鈴木教授(歯内), 中納准教授(矯正), 鎌谷准教授(口外), マイヤース三恵准教授(連携), 伊原准教授(リハ), 松田講師(放射)でした。両WSともに新型コロナ感染予防対策のため、参加者全員が当日の朝に抗原検査を行い参加する形式で無事に実施されました。



第12回昭和大学教育者のためのワークショップビギナーズコース参加者

# 昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーズ)に参加しました

<医科歯科連携診療歯科学部門 松井 庄平>



7月14~16日にかけてクロスウェーブ府中で、昭和大学教育者のためのワークショップ(ビギナーズ)が開催されました。医・歯・薬・保健医療学部, 富士吉田教育部の各部門より参加者が集まり, 5つのグループに分かれて, 教育カリキュラムの作成に取り組みました。また, 岐阜大学名誉教授の高橋優三先生からは学生の興味・意欲をいかに引き出すかについての講義や, 小口勝司理事長より昭和大学の過去・現在・未来についてのご講演などがありました。昭和大学でどのような医療人を育てたいか?という根元的な問いに対し, 各学部から集まったほぼ初対面のメンバーが, 密に討議を繰り返しました。教育の奥深さや, 本学の教育に対する熱い思いを肌で感じる3日間でした。今回のWSで学んだことを少しでも教育に活かしていきたいと考えております。タスクフォースの先生方, 参加者の先生方, 運営に携わった関係者の方々には大変お世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

## 昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスド)に参加しました

＜歯科放射線医学部門 松田 幸子＞



8月18(木), 19日(金)に開催された昭和大学教育者のためのワークショップ・アドバンスコースに参加しました。各学部の先生方が参加されており、それぞれの学部における教育の現状や、アイデアなどを伺うことができました。

歯学部からは12名が参加しました。歯学部に与えられた課題は「アウトカム基盤型教育におけるカリキュラムマップ再検討」でした。歯科治療の多くが侵襲的治療であり、さらにコロナ禍という状況下の中で、どこを学生の学習到達目標とするかについて討論しました。技術や知識は日

進月歩で新しくなっており、学生はこの変化に対応していかなくてはなりません。これに加えて、歯学部では口腔内で器具を操作するという手技を身につける必要があります。時代の変化に自ら対応できる歯科医師になってもらうためには、教育方法をどのように改善していくべきか、大きな課題があることに気づかされたワークショップでした。

## 昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスド, 学部混合)に参加しました

＜口腔生理学講座 中村 史朗＞



8月18日(木), 19日(金)に昭和大学教育者のためのワークショップ(アドバンスド, 学部混合)が開催されました。本年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、昭和大学上條記念館にて行われました。4学部混合グループには野中直子教授と私が参加しました。この4学部混合グループでは、「2年次以降の学修の移行などによる1年次カリキュラム検討」をテーマに据え、アウトカム基盤型教育の実現に向けた4学部の1年次カリキュラムの見直し、および昭和大学富士吉田校舎ならでは

の学修と指導の再構築について検討を行いました。1日目は、各学部における1年次カリキュラム案の調整・修正をするとともに、学部間で連携することが可能な学修についてディスカッションしました。2日目は、新たなカリキュラム案に基づいた実習・講義施設の具体案の検討を行いました。4学部の状況はそれぞれ異なりますが、医系総合大学の特徴を生かした昭和大学ならではの魅力あるカリキュラムを生み出そうとする、参加された先生方の熱い思いが感じられたワークショップとなりました。

# 第84回私立大学歯学部学生生活協議会に参加いたしました

<歯学部学生部長 野中 直子>



学生課 村田課長(右)

9月29日、30日に私立歯学部学生生活協議会が松本歯科大学で開催され、学生課の村田久子課長と参加いたしました。コロナ禍で対面の協議会は3年ぶりでしたが、まだ終息したわけではないため、開始前に抗原検査を受け、参加者全員の陰性が確認されて会議が開始されました。この協議会は私立歯学部17校が集まり、学生生活についての情報交換と学生生活をより充実させるために、各大学から持ち寄られた議題について話し合います。今回はコロナ禍での議題が多く、他大学の学生生活や教育について工夫をしている点を聞くことができ、参考になりました。2日目は松本歯科大学から上高地に移動し大自然の中で会議が続きました。

この会議では、本学の口腔生化学講座にいらした宇田川信之先生(現松本歯科大学教授)と歯科理工学部門にいらした玉置幸道先生(現朝日大学歯学部教授)に久しぶりにお会いすることができ、ご両名とも大変お元気でご活躍でした。

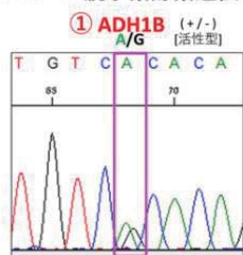


玉置教授(左)・宇田川教授(右)

## ～学生実習風景～ 歯科薬理学

<歯科薬理学講座 唐川 亜希子>

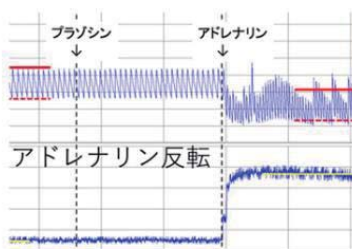
① 口腔乾燥症治療薬(セビメリン)を使った実験 ② 自身のDNA塩基配列解析 (アルコール脱水素酵素遺伝子)



— 自律神経調節薬の作用とアルコール代謝酵素遺伝子の解析 —

2年生の『生体と薬物(薬理)』実習は、自律神経調節薬の作用を理解するにあたり、口腔生理学実習と同時に実施することで、相乗的な学修効果を狙いました。口腔乾燥症治療薬のセビメリンや交感神経刺激薬のアドレナリンを実験動物に投与し、唾液分泌量と心拍・血圧の変化を調べました。また、各学生が自身の頬粘膜からDNAを抽出し、アルコール代謝酵素遺伝子(ADH1とALDH2)の塩

③ 心機能・血圧を調整する薬の実験 (コンピューターシミュレーション)



基配列を解析することで、自身の遺伝子多型を認識しました。それに基づいて、飲酒を原因とする急性アルコール中毒や肝障害、そしてアルコールハラスメントについて考察しました。

## ～研究紹介～口腔機能リハビリテーション医学部門

＜口腔機能リハビリテーション医学部門 伊原 良明＞

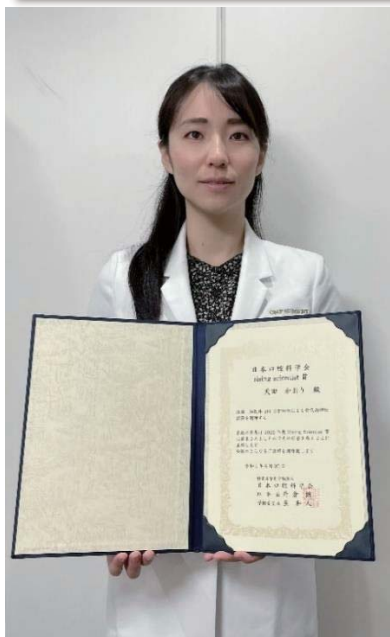


口腔機能リハビリテーション医学部門では、主に摂食嚥下障害とQOLの関係、摂食嚥下障害の新しい診断方法の確立、嚥下治療における電気刺激装置の効果、構音障害に関わる研究など口腔機能に関わる研究を広く行っています。これまでも嚥下障害に関わる研究を広く行っておりました。新たな診断法や治療法に関して歯科のみの知見で行うことは難しく、昭和大学の特色である医科など多職種と協力し、研究を行っております。今後更に歯科医学のみではなく他分野の研究者、産学連携など

企業と連携した研究を行い、研究成果をより広く患者さんに還元できるよう研究を進めて参ります。

## 第76回 NPO 法人日本口腔科学会学術大会 日本口腔科学会 Rising Scientist 賞受賞

＜顎顔面口腔外科学部門 天田かおり＞



令和4年4月21日～23日に九州大学主催で行われた第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会にて研究発表をさせていただきました。様々な歯科分野の研究発表が披露なされました。発表させて頂きましたことと併せて、興味を惹かれる内容が随所にあり有意義な時間を過ごすことができました。私は、「細胞外pHは骨細胞による骨代謝回転調節を制御する」という演題で発表させていただき、この演題においてRising Scientist賞を受賞することができました。口腔外科では、炎症や癌等、組織の酸性状態を起こす病態との関わりがあります。医療において、病態を知ることには新しい治療法や新薬開発につながると考えております。受賞にあたり、これまでご指導いただきました上條竜太郎教授を始とした宮本洋一教授、口腔生化学講座の皆様そして多くの先生のお陰であると実感しております。心より感謝申し上げます。今後も日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

## Award (受賞)

- ・国際障害者歯科学会 (IADH2022) Research Award 渡邊 賢礼(口腔衛生学部門 講師)
- ・日本歯科麻酔学会 松田学術奨励賞 若月 萌音

## 先端歯学スクールに参加しました

＜歯科矯正学講座 河合 良太＞



8月26日、27日に徳島大学で開催されました、先端歯学国際教育研究ネットワーク主催の先端歯学スクールに参加しました。本会は、全国の歯科大学・歯学部から1名ずつ選抜された大学院生による口頭発表と著名な研究者による教育講演で構成され、大学院生に対する教育・研究指導を目的としています。口頭発表後の質疑応答は非常に緊張感があるので、様々な指摘や助言をいただくことができました。先生方からの様々なご指摘・アドバイスから、新たな気づきを得ることが出来ました。また、参加している各大学院生の研究

内容は非常にレベルが高く、発表や討論を聞くことでとても勉強になりました。休憩時間も著名な先生方や大学院生と研究の話や苦労話をする事ができ、非常に良い刺激となりました。このような機会を与えてくださった、上條竜太郎教授をはじめ、宮本洋一教授、矢野文子先生、榎宏太郎教授、その他多くの先生方にこの場をお借りして感謝を申し上げます。

## 認定医・専門医取得

・日本歯科麻酔学会認定医

若月 萌音  
生方 雄平  
千頭和 彩  
原 あきら

## 行事予定

- 【11月】 11月 2日 大学院歯学研究科説明会(第3回)  
11月19日 医療人教育演習(プレFD)  
11月26日 4学部学校推薦型選抜入試・4学部卒業生推薦入試  
【11月】 12月 3日 第69回昭和大学学士会総会

## 編集後記

＜口腔病理学部門 行森 茜＞

10月に入りまして一気に寒さが増し、秋が急にやってきたような感じを受けております。日によっては急激な気温変化もあり体調を崩しやすい時期ですが、お体に気を付けてお過ごしください。お忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算218号 2022年10月発行  
発行責任者：歯学部長 榎 宏太郎 編集責任者：広報委員会委員長 野中 直子  
9・10月号編集委員：行森 茜（広報委員会）  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000  
ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp